

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2002-147559 (P2002-147559A)  
【公開日】平成 14 年 5 月 22 日 (2002.5.22)  
【出願番号】特願 2000-349892 (P2000-349892)  
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 H 15/38

F 1 6 H 37/02

【F I】

F 1 6 H 15/38

F 1 6 H 37/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 9 日 (2005.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

そして入力軸 2 0 のスプライン溝 5 1 , 6 2 と入力ディスク 1 2 のスプライン溝 5 2 , 6 3 との間に複数のボール 5 3 , 6 4 が収容されている。したがって各入力ディスク 1 2 は、入力軸 2 0 に対して回転方向に固定され、軸線 P 方向に移動可能となっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

パワーローラ 1 5 はトラニオン 1 7 の上部の揺動軸 1 7 b と下部の揺動軸 1 7 c との間に設けられ、このパワーローラ 1 5 を回転自在に支持した偏位軸 1 9 がトラニオン 1 7 の主部 1 7 a に取り付けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

互いに対向した一対のトラニオン 1 7 における上部の揺動軸 1 7 b および下部の揺動軸 1 7 c はそれぞれ変速機 1 0 のケーシング 1 0 a に設けられた上部のヨーク 7 0 および下部のヨーク 7 1 を介して回転自在に支持されている。そして互いに対向した一対のトラニオン 1 7 の下部の揺動軸 1 7 c の相互間には、その一対のトラニオン 1 7 の相互を同期して揺動させる同期ケーブル 7 2 が襷掛け状に掛け渡されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 2 2 】

各油圧シリンダ機構 7 5 に対する給排油は一つの制御弁 8 0 により行なわれる。制御弁 8 0 は、変速指令用のステッピングモータ 8 4 により軸方向に駆動されるスリーブ 8 1 と、このスリーブ 8 1 内に軸方向に摺動自在に嵌挿されたスプール 8 2 とを備えている。

## 【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 2 6 】

この結果、パワーローラ 1 5 の周面と入力ディスク 1 2 および出力ディスク 1 3 の トラクション面 との当接位置が変化し、入力軸 2 0 と出力ギア 3 3 との間の回転速度比が変化する。

## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 3 0 】

このような動作の繰り返しにより、トラニオン 1 7 が所定量変位した状態で、制御弁 8 0 の油流路が閉じられ、各油圧シリンダ機構 7 5 への油の給排が停止する。前記トラニオン 1 7 の動作は同期ケーブル 7 2 により他方のトラニオン 1 7 に伝達され、したがって各トラニオン 1 7 の上下方向及び揺動方向の変位量が前記ステッピングモータ 8 4 による制御に応じた量に保持され、変速比が設定された目標値に定まる。

## 【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【図6】

図6

